

リハビリが出来る街づくり ～健康医療福祉都市構想～

障害者社会参加劇団 劇団ファットブルーム
〒982-0825 宮城県仙台市太白区西の平 1 丁目 6-7

助成事業の概要

実施目的：介護保険の破たんが問題視されている今日様々な改定がされている。その中で問題点も多く抽出されており、要支援者の地域事業委託、介護難民等が持ち上がっている。そのような介護保険事情の認識が薄い現実をとらえ、介護保険に対する認識の向上と自らが健康で居られる場所作りをテーマに勉強会を開催していく。

時期：平成 28 年 7 月～ 29 年 3 月

内容：介護保険制度の中で地域リハビリの重要性を唱えている講師を招いての講習会を開催。それについての勉強会を開催し、どのような形で介護保険の理解をし、どのような場所で。どのような展開をしていくかを計画立案する。様々なイベントでの広報活動行い広報を行い、活動と勉強会を通じてパンフレットを作成し、地域交流の場所として公園（park）を活用したりリハビリの出来る街づくりの提案を行っていく。

事業の成果

介護保険に関する問題点を提供し、勉強会の開催を計画する。第 1 回勉強会では 5 名の参加。専門職の方の参加が多く、地域包括センターや社会福祉協議会のあり方に対する疑問が多く出た。介護保険における介護度の認識の無さが出た。第 2 回勉強会においては専門職より一般の方の参加が多く 9 名。精神障害者や生活困窮者施設に勤める職員に話が聞けた。10 月 19 日の河北新聞に橋本氏の講演会の記事を掲載し、新たに介護保険

を受けて悩んでいる方が 3 名参加された。参加者の介護保険に対する理解の無さが講演後に認識された。この事実を新たに加えて第 3 回目の勉強会を開催する。その後は、高次脳機能障害者セミナーにゲスト参加し自らの活動報告をする。この活動に興味を示した、FM 泉主催の「タピオ大学」からの依頼にて講演に繋がる。「タピオ大学」は年に 3～4 回の参加が確定。「リハビリが出来る街づくり」のテーマを継続して報告する予定。民進党の伊藤優太氏に依頼し、6 月の仙台市の定例会にて介護保険の問題点と公園を使った介護保険の啓蒙活動の計画を提案してもらい、会派への広報活動を依頼した。特定非営利法人煌の会における広報活動。その後副代表の八木による「タピオ大学」での広報、介護予防指導士の蛭原氏の活動への参加と広報を行い、活動の紹介を行う。活動のまとめとして、3 月より「リハビリが出来る街づくり」と題した提案型の小冊子の編集に移り、冊子を作成中。内容は勉強会を通じて行っていた介護保険の問題点を踏まえて、自らが「ケアプラン」を作成できるようになる事の重要性を訴え、人の集まるところでの介護保険の啓蒙活動の重要性を提案していく。冊子の完成は 4 月下旬から 5 月上旬を予定する。なお作成した冊子については、仙台市内の地域包括事業センターへの配布、「タピオ大学」等の活動時における配布、民進党、公明党会派への配布、広報を計画中。また冊子の作成においては、勉強会に参加した有志（5 名）と現在行っている。4 月に「まちづくりプランニング」加藤氏と「公園を利用した魅力ある活動の模索」を開催。今後の活動の指

針を考えた。

成果の広報、公表

- 8月6日 第1回勉強会「生きづらさについてどう思いますか？」参加者5名
- 10月8日 第2回勉強会「制度の矛盾についてどう思いますか？」参加者9名
- 10月7日 「リハビリが出来る街づくり」チラシ360部配布。
- 10月19日 河北新聞に「リハビリが出来る街づくり」の講演会の開催掲載。内容としては介護保険の現状や課題を説明。ケアプランを人任せにせず自分で考える重要性を考える講演会の開催を告知。参加費無料、定員50名募集。
- 11月5日 仙台市市民会館にて「リハビリが出来る街づくり」開催。橋本大吾氏の「住民全体で介護予防」公演を行う。参加者15名
- 11月26日 高次脳機能障害者セミナーに参加し「リハビリが出来る街づくり」の説明。参加者84名
- 12月17日 第3回勉強会「介護保険について悩みはありますか？」参加者10名
- 1月19日 民進党・伊藤優太氏に対しての広報依頼（6月の仙台市議会への意見提出の依頼）
- 1月23日 FM 泉主催の市民講座「タピオ大学」にて「リハビリが出来る街づくり」の公演を行う。」参加者11名 担当高橋
- 2月13日 特定非営利法人 煌の会 就労継続支援 B 型事業所「工房スピカ」にて「リハビリができる街づくり」の広報 23名
- 2月17日 FM 泉主催市民講座「タピオ大学」にて「これからの街づくりの形～交通と福祉の観点から参加者18名 担当八木
- 2月19日 名取市市民会館にて「早いに越したことはない！介護予防対策」蛭原昌子氏（介護予防指導士）主催に参加し広報活動。参加者

21名

4月2日 合同会社「まちづくりプランニング」加藤氏を迎えての勉強会 参加者5名

今後の展開

今後は勉強会で作成した冊子を活用し「リハビリが出来る街づくり」の広報を行っていきます。計画としては、FM 泉主催の市民講座「タピオ大学」への定期参加を行い、活動の報告とパンフレットの配布を行っていきます。冊子を宮城県内の高齢福祉課へ持ち込み配布の依頼を行います。相馬氏にある「骨太公園」を取材し、高齢者の健康器具の必要性を調査し、民進党伊藤優太氏に依頼し、6月の仙台市議会で公園内でのリハビリ器具の設置の必要性を報告してもらいます。「合同会社まちづくりプランニング」の加藤代表と協力し、高齢化住宅地域での公園を使ったリハビリテーションの開催を市の公園課に依頼し、町内会の協力を得て実費にて行っていきます。実績を重ねて行く事で仙台市の補助金を申請し、運営資金に充てて継続していく事を予定しています。障害者社会参加劇団 劇団ファットブルームのホームページに新たに「リハビリの出来る街づくり」に対しての項目を増やし、意見の集積や広報活動を行い継続した事業展開をしていきます。